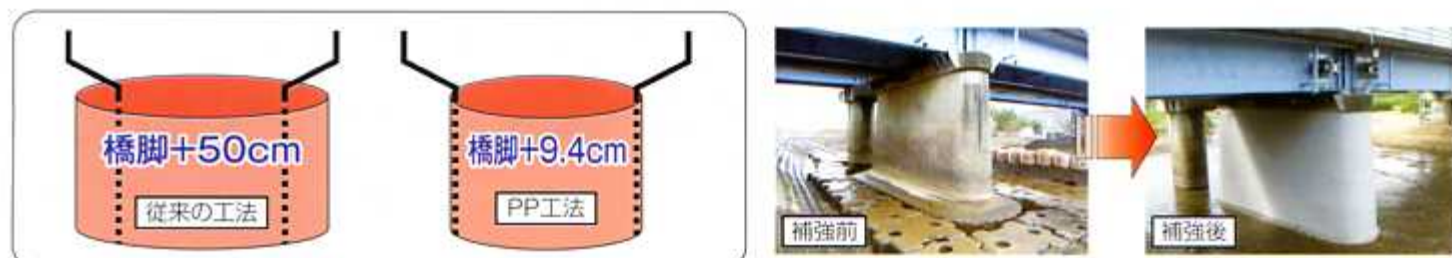


市子橋の耐震補強 (道路計画課)

東近江市市子川原町地先の佐久良川に架かる一般県道桜川西竜王線の市子橋は昭和38年の基準で作られており、耐震性能が不足していることから、橋脚補強工事を行いました。市子橋は川幅の割に橋脚が多く、橋脚を太くすれば水の流れを阻害して河川の氾濫を引き起こしてしまう恐れがあるため、PP工法という補強断面の増加を抑える工法を用いて施工し、工事は平成21年6月に完了しました。これからも安心安全な道づくりに努めてまいりますので、ご協力お願いいたします。



国道421号黄和田工区 不老橋上部工着手 (道路計画課)

黄和田工区(2.9km)において計画している橋の中で一番長い「不老橋」の上部工工事に着手しました。不老橋で採用している「張り出し架設工法」は、架設用移動作業車によって橋脚上部より左右に順次張り出し架設する工法です。地上部より支えとなる支保工を設置する必要がないので、渓谷や河川内、交通量の多い道路上や鉄道の営業線上に架設する場合など、地形や桁下条件に左右されずに施工できることから選定される工法です。



(仮称)蒲生スマートインターチェンジの連結許可 (道路計画課)

平成21年6月30日に、名神高速道路の八日市-竜王インターチェンジ間に、県道土山蒲生近江八幡線とをつなぐ、ETC車専用の(仮称)蒲生スマートインターチェンジの連結が、金子-義国土交通大臣から許可されました。

平成26年3月末に、名神高速道路で初めてとなるスマートインターチェンジ供用開始をめざし、事業を進めていきます。

